

小学校教育課程の課題：小学校教育における生きる力の育成

著者	菊池 健夫
雑誌名	東京家政大学研究紀要 1 人文社会科学
巻	42
ページ	83-92
発行年	2002
出版者	東京家政大学
URL	http://id.nii.ac.jp/1653/00009098/

小学校教育課程の課題

—小学校教育における生きる力の育成—

菊池 健夫

(平成 13 年 10 月 4 日受理)

The Subject on System of Elementary Curriculum

— A Useful Training of Power in Elementary Education —

Takeo KIKUCHI

(Received on October 4, 2001)

キーワード：教育課程，小学校教育，学習指導法

Key words：Curriculum, Elementary Education, Study Method of Instruction

I 教育の在り方の基本

このことについては、平成8年7月の「中央教育審議会第1次答申」を引用しながら記述したい。

教育においては、どんなに社会が変化しようとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)がある。

豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を愛する心など、こうしたものを子供たちに培うことは、いつの時代、どこの国の教育においても大切にされなければならないことである。

また、それぞれの国の教育において、子供たちにその国の言語、その国の歴史や伝統、文化などを学ばせ、これらを大切にすることをはぐくむことも、また時代を超えて大切にされなければならない。我が国においては、次代を担う子供たちに、美しい日本語をしっかりと身に付けさせること、我が国が形成されてきた歴史、我が国の先達が残してくれた芸術、文学、民話、伝承などを学ぶこと、そして、これらを大切にすることを培うとともに、現代に生かしていくことができるようにすることも、我々に課された重要な課題である。

我々はこれからの教育において、子供たち一人一人が、

伸び伸びと自らの個性を存分に発揮しながら、こうした「時代を超えて変わらない価値のあるもの」をしっかりと身に付けていってほしいと考える。

しかし、また、教育は、同時に社会の変化に無関心であってはならない。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題である。

特に、21世紀に向けて、急激に変化していくと考えられる社会の中であって、これからの社会の変化を展望しつつ、教育について絶えずその在り方を見直し、改めるべきは勇気を持って速やかに改めていくこと、とりわけ、人々の生活全般に大きな影響を与えたとともに、今後も一層進展すると予測される国際化や情報化などの社会の変化に教育が的確かつ迅速に対応していくことは、極めて重要な課題と言わなければならない。

このように、我々は、教育における「不易」と「流行」を十分に見極めつつ、子供たちの教育を進めていく必要があると考えるが、このことは、これからの時代を拓いていく人材の育成という視点から重要だというだけでなく、子供たちが、それぞれ将来、自己実現を図りながら、変化の激しいこれからの社会を生きていくために必要な資質や能力を身に付けていくという視点からも重要だと考える。

また、今日の変化の激しい社会であって、いわゆる知識の陳腐化が早まり、学校時代に獲得した知識を大事に

保持していれば済むということはもはや許されず、不断にリフレッシュすることが求められるようになっていく。生涯学習時代の到来が叫ばれるようになったゆえである。加えて、将来予測がなかなか明確につかない、先行き不透明な社会にあって、その時々状況を踏まえつつ、考えたり、判断したりする力が一層重要となっている。さらに、マルチメディアなど情報化が進展する中で、知識・情報にアクセスすることが容易となり、入手した知

識・情報を使ってもっと価値ある新しいものを生み出す創造性が強く求められるようになっていく。

学校教育には様々な課題があるが、このことについて、平成8年度から継続的に調査している。要請されている課題を60項目に絞って、子供が十分に持っているものないしは持たないと意識していることを調査している。平成11年度と13年度の調査結果を提示すると、次の表1～表6のようになる。

表1 資質・能力 小学校第5学年男子 N=84 平成11年6月 都内5校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

	○	×
1) 正しいことを大切にすること	13	23
2) 知識を求める心	14	26
3) 自然を愛する心	26	15
4) 自分の力で物事をやっていこうとする心	23	11
5) 美しいものに感動する心	12	22
6) 優れているものに感動すること	15	15
7) 生命を尊重すること	15	11
8) 他人を思いやる心	20	9
9) 感謝の心	21	4
10) 公共のために尽くす心	3	14
11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心	23	16
12) 健やかな心	14	13
13) 豊かな心	15	11

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

	○	×
14) 自然に対する興味や関心	38	5
15) 社会に対する興味や関心	5	14
16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度	10	14
17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度	16	9
18) 強い意志と実行する力	6	14
19) 社会のきまりを守る態度	5	17

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

	○	×
20) 日常の生活のしかた	20	11
21) 自分の生き方を自分で考える態度	18	6
22) 生活を向上させる知識や方法	7	7
23) 良いこととわるいことの判断	22	18
24) だれに対しても同じように接する態度	16	19

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、()につけましょう。

	○	×
25) 学習に対するやる気	30	24
26) すじみちを立てて考える力	7	19
27) 新しいことを考え出す力	25	15
28) 音声や絵図などで表現する力	21	15
29) 学習したことへの知識	17	14
30) 問題を自分の力で解決する力	19	22
31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力	22	26

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

	○	×
32) 正しい言葉で適切に表現する力	10	34
33) 国語を正しく理解する力	9	35
34) 社会の問題をすすんで解決しようとする力	7	30
35) 社会のできごとを公正に考える力	4	18
36) 算数で考えたり計算したりする力	27	19
37) 理科で考えたり観察したりする力	33	10
38) 音楽が好き	37	11
39) 図画工作が好き	44	6
40) 芸術に対する豊かな心	8	19
41) 家庭科で実践的に活動する力	15	10
42) 運動をして健康な体をつくる態度	38	8

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

	○	×
43) 国語を尊重する態度	15	20
44) 日本の文化と伝統を大切に思う心	27	8
45) 世界と日本とのかかわりについての知識	10	17
46) 諸外国の文化を大切に思う心	5	7
47) 諸外国の文化についての知識	2	11
48) 民主的社会の一員としての自覚	18	6

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

	○	×
49) 家庭生活や社会生活を向上させる力	11	23
50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度	33	8
51) 運動に親しむ習慣	40	17
52) 健やかな身体	23	13
53) たくましい体力	16	23
54) 道徳を大切にすること	9	19
55) コンピュータを活用する力	30	13
56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度	6	31
57) 身に付けた知識や技能を活用する力	10	8
58) ボランティア活動を大切にすること	10	13
59) 郷土や国を愛する心	6	16
60) 世界の平和や国際親善に努める心	9	10

表2 資質・能力 小学校第5学年女子 N=86 平成11年6月 都内5校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 1) 正しいことを大切にすること
- 2) 知識を求め心
- 3) 自然を愛すること
- 4) 自分の力で物事をやっいてこうとする心
- 5) 美しいものに感動すること
- 6) 優れているものに感動すること
- 7) 生命を尊重すること
- 8) 他人を思いやる心
- 9) 感謝の心
- 10) 公共のために尽くす心
- 11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心
- 12) 健やかな心
- 13) 豊かな心

○	×
12	30
11	33
41	8
28	21
17	12
17	13
21	8
35	6
28	5
4	22
9	21
14	6
11	8

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 14) 自然に対する興味や関心
- 15) 社会に対する興味や関心
- 16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度
- 17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度
- 18) 強い意志と実行する力
- 19) 社会のきまりを守る態度

○	×
42	8
8	22
9	14
6	11
15	9
8	18

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 20) 日常の生活のしかた
- 21) 自分の生き方を自分で考える態度
- 22) 生活を向上させる知識や方法
- 23) 良いこととわるいことの判断
- 24) だれに対しても同じように接する態度

○	×
23	9
18	9
6	16
34	7
6	40

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、()につけましょう。

- 25) 学習に対するやる気
- 26) すじみちを立てて考える力
- 27) 新しいことを考え出す力
- 28) 音声や絵図などで表現する力
- 29) 学習したことの知識
- 30) 問題を自分の力で解決する力
- 31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力

○	×
35	17
8	25
21	20
42	16
15	6
15	35
20	25

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 32) 正しい言葉で適切に表現する力
- 33) 国語を正しく理解する力
- 34) 社会の問題をすずんで解決しようとする力
- 35) 社会のできごとを公正に考える力
- 36) 算数で考えたり計算したりする力
- 37) 理科で考えたり観察したりする力
- 38) 音楽が好き
- 39) 図画工作が好き
- 40) 芸術に対する豊かな心
- 41) 家庭科で実践的に活動する力
- 42) 運動をして健康な体をつくる態度

○	×
9	45
9	18
4	40
5	16
20	27
15	12
63	1
42	8
12	10
42	1
27	17

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 43) 国語を尊重する態度
- 44) 日本の文化と伝統を大切に思う心
- 45) 世界と日本とのかかわりについての知識
- 46) 諸外国の文化を大切に思う心
- 47) 諸外国の文化についての知識
- 48) 民主的社会の一員としての自覚

○	×
22	16
26	13
12	12
5	5
6	12
5	14

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 49) 家庭生活や社会生活を向上させる力
- 50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度
- 51) 運動に親しむ習慣
- 52) 健やかな身体
- 53) たくましい体力
- 54) 道徳を大切にすること
- 55) コンピュータを活用する力
- 56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度
- 57) 身に付けた知識や技能を活用する力
- 58) ボランティア活動を大切にすること
- 59) 郷土や国を愛すること
- 60) 世界の平和や国際親善に努める心

○	×
18	14
36	10
26	20
15	11
9	29
25	14
28	18
22	17
15	16
29	10
3	15
4	13

表3 資質・能力 小学校第5学年男女子(全) N=170 平成11年6月 都内5校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 1) 正しいことを大切にすること
- 2) 知識を求める心
- 3) 自然を愛する心
- 4) 自分の力で物事をやっつけようとする心
- 5) 美しいものに感動する心
- 6) 優れているものに感動する心
- 7) 生命を尊重する心
- 8) 他人を思いやる心
- 9) 感謝の心
- 10) 公共のために尽くす心
- 11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心
- 12) 健やかな心
- 13) 豊かな心

○	×
25	53
25	59
67	23
51	32
29	34
32	28
36	19
55	15
49	9
7	36
32	37
28	19
26	19

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 14) 自然に対する興味や関心
- 15) 社会に対する興味や関心
- 16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度
- 17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度
- 18) 強い意志と実行する力
- 19) 社会のきまりを守る態度

○	×
80	13
13	36
19	28
22	20
21	23
13	35

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 20) 日常の生活のしかた
- 21) 自分の生き方を自分で考える態度
- 22) 生活を向上させる知識や方法
- 23) 良いこととわるいことの判断
- 24) だれに対しても同じように接する態度

○	×
43	20
36	15
13	23
56	25
22	59

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、()につけましょう。

- 25) 学習に対するやる気
- 26) すじみちを立てて考える力
- 27) 新しいことを考え出す力
- 28) 音声や絵図などで表現する力
- 29) 学習したことの知識
- 30) 問題を自分の力で解決する力
- 31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力

○	×
65	41
15	44
46	35
63	31
32	20
34	57
42	51

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 32) 正しい言葉で適切に表現する力
- 33) 国語を正しく理解する力
- 34) 社会の問題をすすんで解決しようとする力
- 35) 社会のできごとを公正に考える力
- 36) 算数で考えたり計算したりする力
- 37) 理科で考えたり観察したりする力
- 38) 音楽が好き
- 39) 図画工作が好き
- 40) 芸術に対する豊かな心
- 41) 家庭科で実践的に活動する力
- 42) 運動をして健康な体をつくる態度

○	×
19	79
18	53
11	70
9	34
47	46
48	22
100	12
86	14
20	29
57	11
65	25

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 43) 国語を尊重する態度
- 44) 日本の文化と伝統を大切に思う心
- 45) 世界と日本とのかかわりについての知識
- 46) 諸外国の文化を大切に思う心
- 47) 諸外国の文化についての知識
- 48) 民主的社會の一員としての自覚

○	×
37	36
53	21
22	29
10	12
8	23
23	20

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 49) 家庭生活や社会生活を向上させる力
- 50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度
- 51) 運動に親しむ習慣
- 52) 健やかな身体
- 53) たくましい体力
- 54) 道徳を大切にすること
- 55) コンピュータを活用する力
- 56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度
- 57) 身に付けた知識や技能を活用する力
- 58) ボランティア活動を大切にすること
- 59) 郷土や国を愛する心
- 60) 世界の平和や国際親善に努める心

○	×
29	37
69	18
66	37
38	24
25	52
34	33
58	31
28	48
25	24
39	23
9	31
13	23

表4 資質・能力 小学校第5学年男子 N=53 平成13年7月 都内4校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 1) 正しいことを大切にすること
- 2) 知識を求める心
- 3) 自然を愛する心
- 4) 自分の力で物事をやっというとする心
- 5) 美しいものに感動する心
- 6) 優れているものに感動する心
- 7) 生命を尊重する心
- 8) 他人を思いやる心
- 9) 感謝の心
- 10) 公共のために尽くす心
- 11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心
- 12) 健やかな心
- 13) 豊かな心

○	×
15	12
20	14
14	14
13	11
6	14
6	15
11	5
13	9
21	9
5	14
6	16
14	5
10	10

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 14) 自然に対する興味や関心
- 15) 社会に対する興味や関心
- 16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度
- 17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度
- 18) 強い意志と実行する力
- 19) 社会のきまりを守る態度

○	×
21	7
8	15
5	10
5	4
10	7
5	10

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 20) 日常の生活のしかた
- 21) 自分の生き方を自分で考える態度
- 22) 生活を向上させる知識や方法
- 23) 良いこととわるいことの判断
- 24) だれに対しても同じように接する態度

○	×
17	7
12	8
4	7
13	4
7	27

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、つけましょう。

- 25) 学習に対するやる気
- 26) すじみちを立てて考える力
- 27) 新しいことを考え出す力
- 28) 音声や絵図などで表現する力
- 29) 学習したことへの知識
- 30) 問題を自分の力で解決する力
- 31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力

○	×
20	18
10	22
15	10
16	14
7	9
12	10
18	14

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 32) 正しい言葉で適切に表現する力
- 33) 国語を正しく理解する力
- 34) 社会の問題をすすんで解決しようとする力
- 35) 社会のできごとを公正に考える力
- 36) 算数で考えたり計算したりする力
- 37) 理科で考えたり観察したりする力
- 38) 音楽が好き
- 39) 図画工作が好き
- 40) 芸術に対する豊かな心
- 41) 家庭科で実践的に活動する力
- 42) 運動をして健康な体をつくる態度

○	×
12	28
16	14
9	19
8	20
28	8
14	8
8	17
27	7
5	14
9	12
27	6

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 43) 国語を尊重する態度
- 44) 日本の文化と伝統を大切に思う心
- 45) 世界と日本とのかかわりについての知識
- 46) 諸外国の文化を大切に思う心
- 47) 諸外国の文化についての知識
- 48) 民主的社会の一員としての自覚

○	×
14	15
18	4
10	8
6	5
1	6
6	17

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 49) 家庭生活や社会生活を向上させる力
- 50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度
- 51) 運動に親しむ習慣
- 52) 健やかな身体
- 53) たくましい体力
- 54) 道徳を大切にすること
- 55) コンピュータを活用する力
- 56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度
- 57) 身に付けた知識や技能を活用する力
- 58) ボランティア活動を大切にすること
- 59) 郷土や国を愛する心
- 60) 世界の平和や国際親善に努める心

○	×
10	12
22	6
26	8
18	7
19	17
3	19
18	9
6	19
8	8
8	22
1	6
15	10

表5 資質・能力 小学校第5学年女子 N=48 平成13年7月 都内4校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 1) 正しいことを大切にすること
- 2) 知識を求めること
- 3) 自然を愛すること
- 4) 自分の力で物事をやろうとする心
- 5) 美しいものに感動すること
- 6) 優れているものに感動すること
- 7) 生命を尊重すること
- 8) 他人を思いやる心
- 9) 感謝の心
- 10) 公共のために尽くす心
- 11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心
- 12) 健やかな心
- 13) 豊かな心

○	×
11	9
6	23
20	6
17	12
18	7
1	10
6	9
19	3
15	2
2	24
9	16
10	4
6	7

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 14) 自然に対する興味や関心
- 15) 社会に対する興味や関心
- 16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度
- 17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度
- 18) 強い意志と実行する力
- 19) 社会のきまりを守る態度

○	×
26	1
2	21
2	8
1	5
10	4
6	7

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 20) 日常の生活のしかた
- 21) 自分の生き方を自分で考える態度
- 22) 生活を向上させる知識や方法
- 23) 良いこととわるいことの判断
- 24) だれに対しても同じように接する態度

○	×
8	6
8	9
0	9
21	7
11	16

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、()につけましょう。

- 25) 学習に対するやる気
- 26) すじみちを立てて考える力
- 27) 新しいことを考え出す力
- 28) 音声や絵図などで表現する力
- 29) 学習したことの知識
- 30) 問題を自分の力で解決する力
- 31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力

○	×
20	8
7	13
12	12
12	16
6	8
15	13
14	20

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 32) 正しい言葉で適切に表現する力
- 33) 国語を正しく理解する力
- 34) 社会の問題をすずんで解決しようとする力
- 35) 社会のできごとを公正に考える力
- 36) 算数で考えたり計算したりする力
- 37) 理科で考えたり観察したりする力
- 38) 音楽が好き
- 39) 図画工作が好き
- 40) 芸術に対する豊かな心
- 41) 家庭科で実践的に活動する力
- 42) 運動をして健康な体をつくる態度

○	×
3	23
12	14
0	23
0	17
18	14
8	10
28	6
19	5
7	9
21	3
13	12

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 43) 国語を尊重する態度
- 44) 日本の文化と伝統を大切に思う心
- 45) 世界と日本とのかかわりについての知識
- 46) 諸外国の文化を大切に思う心
- 47) 諸外国の文化についての知識
- 48) 民主的社会の一員としての自覚

○	×
11	11
18	6
9	6
2	2
3	11
2	11

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 49) 家庭生活や社会生活を向上させる力
- 50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度
- 51) 運動に親しむ習慣
- 52) 健やかな身体
- 53) たくましい体力
- 54) 道徳を大切にすること
- 55) コンピュータを活用する力
- 56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度
- 57) 身に付けた知識や技能を活用する力
- 58) ボランティア活動を大切にすること
- 59) 郷土や国を愛すること
- 60) 世界の平和や国際親善に努める心

○	×
17	9
25	5
18	13
8	3
3	17
10	8
20	12
11	14
2	16
10	11
2	8
5	12

表6 資質・能力 小学校第5学年男女子 N=101 平成13年7月 都内4校

1. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 1) 正しいことを大切にすること
- 2) 知識を求める心
- 3) 自然を愛すること
- 4) 自分の力で物事をやっというとする心
- 5) 美しいものに感動する心
- 6) 優れているものに感動する心
- 7) 生命を尊重すること
- 8) 他人を思いやる心
- 9) 感謝の心
- 10) 公共のために尽くす心
- 11) 自分の感情(気持ち)をおさえる心
- 12) 健やかな心
- 13) 豊かな心

○	×
26	21
26	37
34	20
30	23
24	21
7	25
17	14
32	12
36	11
7	38
15	32
24	9
16	17

2. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 14) 自然に対する興味や関心
- 15) 社会に対する興味や関心
- 16) よりよいものを目指し、その実現を図る態度
- 17) 自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度
- 18) 強い意志と実行する力
- 19) 社会のきまりを守る態度

○	×
47	8
10	36
7	18
6	9
20	11
11	17

3. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、つけましょう。

- 20) 日常の生活のしかた
- 21) 自分の生き方を自分で考える態度
- 22) 生活を向上させる知識や方法
- 23) 良いこととわるいことの判断
- 24) だれに対しても同じように接する態度

○	×
25	13
20	17
4	16
34	11
18	43

4. 次の中で、あなたが十分にもっているもの2つまでに○を、もっていないもの2つまでに×を、()につけましょう。

- 25) 学習に対するやる気
- 26) すじみちを立てて考える力
- 27) 新しいことを考え出す力
- 28) 音声や絵図などで表現する力
- 29) 学習したことの知識
- 30) 問題を自分の力で解決する力
- 31) 分からないことがらを自分の力で探し出す力

○	×
40	26
17	35
27	22
28	30
13	17
27	23
32	34

5. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 32) 正しい言葉で適切に表現する力
- 33) 国語を正しく理解する力
- 34) 社会の問題をすすんで解決しようとする力
- 35) 社会のできごとを公正に考える力
- 36) 算数で考えたり計算したりする力
- 37) 理科で考えたり観察したりする力
- 38) 音楽が好き
- 39) 図画工作が好き
- 40) 芸術に対する豊かな心
- 41) 家庭科で実践的に活動する力
- 42) 運動をして健康な体をつくる態度

○	×
15	51
28	28
9	42
8	37
46	22
22	18
36	23
46	12
12	23
30	15
40	18

6. 次の中で、あなたが十分にもっているもの1つに○を、もっていないもの1つに×を、()につけましょう。

- 43) 国語を尊重する態度
- 44) 日本の文化と伝統を大切に思う心
- 45) 世界と日本とのかかわりについての知識
- 46) 諸外国の文化を大切に思う心
- 47) 諸外国の文化についての知識
- 48) 民主的社会の一員としての自覚

○	×
25	26
36	10
19	14
8	7
4	17
8	28

7. 次の中で、あなたが十分にもっているもの3つまでに○を、もっていないもの3つまでに×を、()につけましょう。

- 49) 家庭生活や社会生活を向上させる力
- 50) 健康で安全な生活をいつまでも続ける態度
- 51) 運動に親しむ習慣
- 52) 健やかな身体
- 53) たくましい体力
- 54) 道徳を大切にすること
- 55) コンピュータを活用する力
- 56) 外国語を学んで外国の人と接しようとする態度
- 57) 身に付けた知識や技能を活用する力
- 58) ボランティア活動を大切にすること
- 59) 郷土や国を愛すること
- 60) 世界の平和や国際親善に努める心

○	×
27	21
47	11
44	21
26	10
22	34
13	27
38	21
17	33
10	24
18	33
3	14
20	22

II 生きる力に注目

Iのように考えるとき、これからの子供たちに必要となるのは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性であると考え、たくましく生きるための健康や体力が不可欠であることは言うまでもない。

こうした資質や能力を、変化の激しいこれからの社会を「生きる力」と称することとし、これらをバランスよくはぐくんでいくことが重要であると考え、

「生きる力」は、全人的な力であり、幅広く様々な観点から敷衍することができる。

まず、「生きる力」は、これからの変化の激しい社会において、いかなる場面でも他人と協調しつつ自律的に社会生活を送っていくために必要となる、人間としての実践的な力である。それは、紙の上だけの知識でなく、生きていくための「知恵」とも言うべきものであり、我々の文化や社会についての知識を基礎にしつつ、社会生活において実際に生かされるものでなければならない。

「生きる力」は、単に過去の知識を記憶しているということではなく、初めて遭遇するような場面でも、自分で課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決していく資質や能力である。これからの情報化の進展に伴ってますます必要になる、あふれる情報の中から、自分に本当に必要な情報を選択し、主体的に自らの考えを築き上げていく力などは、この「生きる力」の重要な要素である。

また、「生きる力」は、理性的な判断力や合理的な精神だけでなく、美しいものや自然に感動する心といった柔らかな感性を含むものである。さらに、よい行いに感銘し、間違った行いを憎むといった正義感や公正さを重んじる心、生命を大切に、人権を尊重する心などの基本的な倫理観や、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考えたり、共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなど社会貢献の精神も、「生きる力」を形作る大切な柱である。

そして、健康や体力は、こうした資質や能力などを支える基盤として不可欠である。

このような「生きる力」を育てていくことが、これからの教育の在り方の基本的な方向とならなければならない

い。「生きる力」をはぐくむということは、社会の変化に適切に対応することが求められるとともに、自己実現のための学習ニーズが増大していく、いわゆる生涯学習社会において、特に重要な課題であるということができよう。

また、教育は、子供たちの「自分さがしの旅」を扶ける営みとも言える。教育において一人一人の個性をかけたがえのないものとして尊重し、その伸長を図ることの重要性はこれまでも強調されてきたことであるが、今後、「生きる力」をはぐくんでいくためにも、こうした個性尊重の考え方は、一層推し進めていかなければならない。そして、その子ならではの個性的な資質を見だし、創造性等を積極的に伸ばしていく必要がある。こうした個性尊重の考え方に内在する自立心、自己抑制力、自己責任や自助の精神、さらには、他者との共生、異質なものへの寛容、社会との調和といった理念は、一層重視されなければならない。

今後、国際化がますます進展し、国際的な相互依存関係が一層深まっていく中で、子供たちにしっかりと「生きる力」をはぐくむためには、世界から信頼される、「国際社会に生きる日本人」を育てるということや、過去から連綿として受け継がれてきた我が国の文化や伝統を尊重する態度を育成していくことが、これまでも増して重要になってくると考えられる。

「生きる力」をこのようなものとして考えたところであるが、「生きる力」をはぐくむに当たっては、特に次のような視点が重要と考える。

(1) 地域社会における教育の充実

まず第一は、学校・家庭・地域社会での教育が十分に連携し、相互補完しつつ、一体となって営まれることが重要だということである。教育は、言うまでもなく、単に学校だけで行われるものではない。家庭や地域社会が、教育の場として十分な機能を発揮することなしに、子供の健やかな成長はあり得ない。「生きる力」は、学校において組織的、計画的に学習しつつ、家庭や地域社会において、親子の触れ合い、友達との遊び、地域の人々との交流などの様々な活動を通じて根づいていくものであり、学校・家庭・地域社会の連携とこれらにおける教育がバランスよく行われる中で豊かに育っていくものである。特に、「生きる力」の重要な柱が豊かな人間性をはぐくむことであることを考えると、現在、ややもすると学校教育に偏りがちと言われ、家庭や地域社会の教育力の低

表7 生きる力 小学校第5学年 N=170
平成11年6月 都内5校

No.	事 項	人数	%
1	50)健康で安全な生活をいつまでも続ける態度	69	40.6
2	23)良いこととわるいことの判断	56	32.9
3	8)他人を思いやる心	55	32.4
4	44)日本の文化と伝統を大切に思う心	53	31.2
5	4)自分の力で物事をやっいていこうとする心	51	30.0
6	27)新しいことを考え出す力	46	27.1
7	52)健やかな身体	38	22.4
8	21)自分の生き方を自分で考える態度	36	21.2
9	30)問題を自分の力で解決する力	34	20.0
10	54)道徳を大切にする心	34	20.0
11	11)自分の感情(気持ち)をおさえる心	32	18.8
12	5)美しいものに感動する心	29	17.1
13	12)健やかな心	28	16.5
14	56)外国語を学んで外国の人と接しようとする態度	28	16.5
15	13)豊かな心	26	15.3
16	1)正しいことを大切にする心	25	14.7
17	53)たくましい体力	25	14.7
18	57)身に付けた知識や技能を活用する力	25	14.7
19	17)自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度	22	12.9
20	24)だれに対しても同じように接する態度	22	12.9
21	18)強い意志と実行する力	21	12.4
22	26)すじみちを立てて考える力	15	8.8
23	19)社会のきまりを守る態度	13	7.6
24	22)生活を向上させる知識や方法	13	7.6
25	10)公共のために尽くす心	7	4.1

表8 生きる力 小学校第5学年 N=101
平成13年7月 都内4校

事 項	人数	%
50)健康で安全な生活をいつまでも続ける態度	47	46.5
44)日本の文化と伝統を大切に思う心	36	35.6
23)良いこととわるいことの判断	34	33.7
8)他人を思いやる心	32	31.7
4)自分の力で物事をやっいていこうとする心	30	29.7
27)新しいことを考え出す力	27	26.7
30)問題を自分の力で解決する力	27	26.7
1)正しいことを大切にする心	26	25.7
52)健やかな身体	26	25.7
5)美しいものに感動する心	24	23.8
12)健やかな心	24	23.8
53)たくましい体力	22	21.8
18)強い意志と実行する力	20	19.8
21)自分の生き方を自分で考える態度	20	19.8
24)だれに対しても同じように接する態度	18	17.8
26)すじみちを立てて考える力	17	16.8
56)外国語を学んで外国の人と接しようとする態度	17	16.8
13)豊かな心	16	15.8
11)自分の感情(気持ち)をおさえる心	15	14.9
54)道徳を大切にする心	13	12.9
19)社会のきまりを守る態度	11	10.9
57)身に付けた知識や技能を活用する力	10	9.9
10)公共のために尽くす心	7	6.9
17)自分の生きる目標を求め、その実現に努める態度	6	5.9
22)生活を向上させる知識や方法	4	4.0

下が指摘されている我が国において、家庭や地域社会での教育の充実を図るとともに、社会の幅広い教育機能を活性化していくことは、喫緊の課題となっていると言わなければならない。

人々が物の豊かさから心の豊かさへと大きく志向を移し、日本型雇用システムが揺らいでいる中で、今、人々は家庭や地域社会へと目を向け始めている。その意味で、今こそ家庭や地域社会での教育の在り方を見直し、その充実を図っていく必要があると考える。

また、このように、子供たちは社会全体ではぐくまれていくものであることを再確認し、子供たちの健やかな成長は、大人一人一人の責任であり、大人一人一人が考え、社会のあらゆる場で取り組んでいく必要がある問題であること、また、大人の社会の在り方そのものが強く問われる問題であることを改めて強調しておきたい。

(2) 子供たちの生活体験・自然体験等の機会の増加

次に、子供たちに「生きる力」をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要であるということである。子供たちは、具体的な体験や物事とのかかわりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいく。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組

むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるのである。このように、体験は、子供たちの成長の糧であり、「生きる力」をはぐくむ基盤となっているのである。

しかしながら、今日、子供たちは、直接体験が不足しているのが現状であり、子供たちに生活体験や自然体験などの体験活動の機会を豊かにすることは極めて重要な課題となっていると言わなければならない。こうした体験活動は、学校教育においても重視していくことはもちろんであるが、家庭や地域社会での活動を通じてなされることが本来自然の姿であり、かつ効果的であることから、これらの場での体験活動の機会を拡充していくことが切に望まれる。

(3) 生きる力の育成を重視した学校教育の展開

さらに、これからの学校教育においては、「生きる力」の育成を重視した教育を展開していく必要があるということである。組織的・計画的に教育を行う学校がどのような視点を重視して教育を行うかは極めて重要であり、このことなしに一人一人の子供たちにしっかりと「生きる力」をはぐくむということの実現は期し得ない。このような視点に立ったこれからの学校教育の在り方については、十分に検討する必要がある。

(4) 子供と社会全体の「ゆとり」の確保

今後の教育の在り方について、これまで述べてきたように、子供たち一人一人に「生きる力」をはぐくんでいくことが大切であるとした場合、学校・家庭・地域社会は、具体的にどうあるべきであり、どう変わらなければならないのか。このことを考えるとき、「生きる力」をはぐくんでいくために、これらに共通のものとして、子供たちにも、学校にも、家庭や地域社会を含めた社会全体にも「ゆとり」が重要であると言える。今、子供たちは多忙な生活を送っている。そうした中で「生きる力」を培うことは困難である。子供たちに「ゆとり」を持たせることによって、はじめて子供たちは、自分を見つめ、自分で考え、また、家庭や地域社会で様々な生活体験や社会体験を豊富に積み重ねることが可能となるのである。そのためにも、子供たちに家庭や地域社会で過ごす時間、すなわち、子供たちが主体的、自発的に使える時間をできるだけ多く確保することが必要である。そうした「ゆとり」の中で子供たちは、心の「ゆとり」を持つことができるようになるのである。

さて、ここで「生きる力」をまとめると次のようになる。

「生きる力」

- 人間としての 実践的な力

- 健康や体力
- 生きていくための知恵
- 創造性の積極的な伸長
- 自ら問題を解決していく資質や能力
- 国際社会に生きる日本人としての資質や能力
- 自らの考えを築き上げていく力
- 自国の文化や伝統を尊重する態度
- 柔らかな感性
- 正義感、公正さ、基本的な倫理観、他を思いやる心、温かい心、社会貢献の精神
- 自立心、自己抑制力、自己責任、自助の精神、他者との共生、寛容、社会との調和

これらの事項を前出の表3及び表6から抽出したものが、前ページの表7・8である。

平成11年度の5校と、平成13年度の4校は異なる小学校である。年度や学校の違いを超えたその共通点に驚かされる。「健康で安全な生活」「善悪の判断」「文化と伝統の尊重」「実行力・実践力」「他を思いやる心」「創造性」は上位にあるが、「生活向上の知識」「規範意識」「公共に尽くす心」「自己実現の態度」などは下位にある。

<参 考>

平成8年7月 中央教育審議会第1次答申

Summary

In school, a new curriculum serves as complete enforcement from the Heisei 14 fiscal year.

The center is "the power of living." The following matter is mentioned as power of living.

- As man practical power
- Health and physical strength
- Wisdom for making a living
- Positive extension of creativity
- Nature and capability which solve the problem himself
- Nature and capability as a Japanese who lives to international society
- Power which builds the idea of oneself
- The attitude which respects the culture and tradition of its own country
- Soft sensitivity
- A sense of justice, justice, a fundamental ethics view, the heart that sympathizes with others, the warm heart, soul of philanthropy
- Harmony with the independence heart, self-control power, self-responsibility, and oneself, symbiosis with the other, tolerance, and society etc.

It has been the mission of future school to raise these.